

# 令和5年度島根県子育て支援に関する 意識調査の主な結果（速報値）

## 1. 調査概要

- 調査方法 ネットリサーチ会社の登録者を対象としたWEB アンケート調査
- 調査対象 島根県内に在住する18歳～49歳の男女
- 回収サンプル数 400サンプル
- 調査期間 令和5年11月15日～令和5年11月21日

## 2. 調査結果のまとめ

○理想的な子どもの数の平均値は1.9人と前回調査（H30年度）の2.5人から大きく減少。また、実際に予定している子どもの数も1.2人と前回の1.8人と減少。

○理想的な子どもの数よりも実際に予定している子どもの数が少ない理由は、男女とも「子どもを育てるのにお金がかかる」が最多。このほか、「子育ての肉体的負担が大きい」「年齢や体質から妊娠・出産が難しい」「安定した雇用や収入がない」「仕事との両立が難しい」の割合が多い。

○子どもが3歳くらいまでの昼間の子育ての場所は、前回調査は「家庭の状況に応じどこでもよい」が最多だったが、「主に保育所や幼稚園などがよい」が前回調査よりも6.3ポイント増加し、最多となった。

○子育て環境の整備のため、行政に期待する施策は、「出産・子育てに伴う経済的負担の軽減」が48%と最多。「保育・放課後児童の預かりの充実」「企業への職場環境の働きかけ」「性別に関係なく家事・子育てを行うという意識の啓発」については、男性よりも女性の選択割合が10ポイント以上高い。

○行政に期待する経済的支援は、「妊娠・出産にかかる費用」が最多で、「保育料」「児童手当の増額」「子どもの医療費」「保育料」「教育費」と続いている。

○子育てをする上での負担や不安の有無は、82.3%が「非常に感じる」「どちらかと言えば感じる」のどちらかを回答。

負担や不安の内容は、「子育てにお金がかかる」が最多で、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」「子育てによる体の疲れが大きい」「自分の自由な時間が持てない」と続いている。

○子育てに関する悩みや不安を相談する相手は、前回同様「配偶者」が約7割と最多だが、「誰にも相談していない」が17%と前回調査から12.6ポイント増加。

○男性・女性の就業のあり方として最も望ましいものは、それぞれ「結婚や子どもの出生と関係なく仕事を続ける」が最多だが、女性の就業のあり方では「結婚を機に退職し、子どもが大きくなってから再就職する」が男性の就業のあり方よりも9.8ポイント高い。

○仕事と子育ての両立のために行政に期待する施策は、「安定した雇用の確保」が49.3%と最多で、次いで「企業への働きかけ（長時間労働の是正、制度の充実等）」が32.3%、「保育・放課後児童の預かりの充実」が31.8%、「強制力のある制度改革」が27.8%と続いている。

### 3. 主な回答結果

#### (1) 理想の子どもの数と実際に予定している子どもの数

Q. あなたにとって、理想のお子さんの数は何人と考えますか。

また、実際に予定しているお子さんは、現在いるお子さんを含めて何人ですか。

・理想のお子さんの数は「2人」が42.8%と最も高く、また、平均で1.9人となっている。一方で、実際に予定しているお子さんの数は「0人」が34.0%と最も高く、また、平均で1.2人となっている。

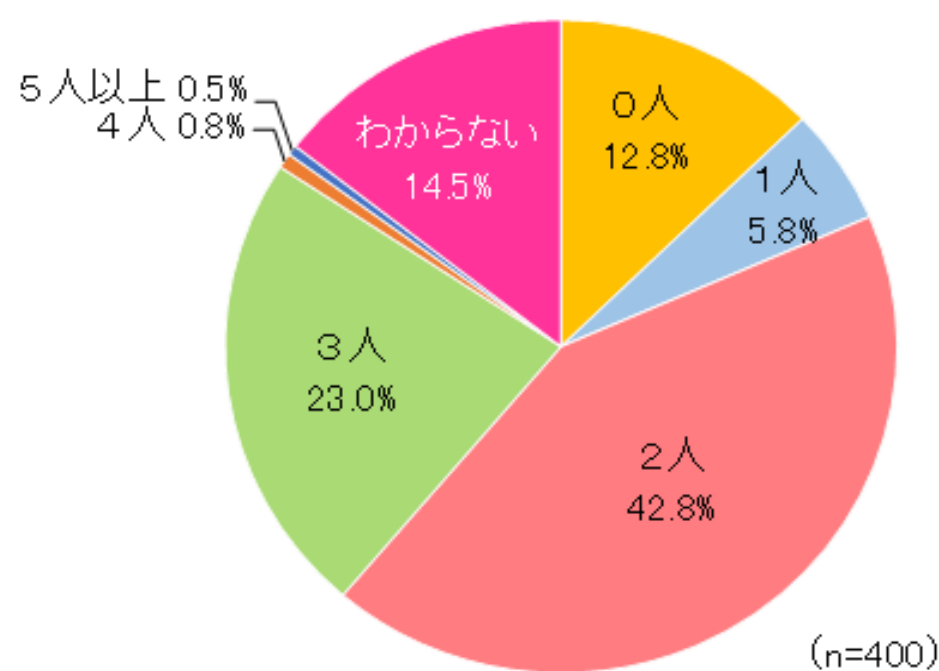
・前回調査と比較すると、理想のお子さんの数、実際に予定しているお子さんの数ともに平均値は大きく減少している。

・理想のお子さんの数別にみると、「0人」が12.8%と前回調査と比較し10.4ポイント増加しており、子どもを持つことを望まない方が増加傾向にある。

また、「3人以上」の子どもを望む割合が24.3%と前回調査と比較し19ポイント減少しており、子どもを持つことを望む方も、望む子どもの数が減少していることがうかがえる。

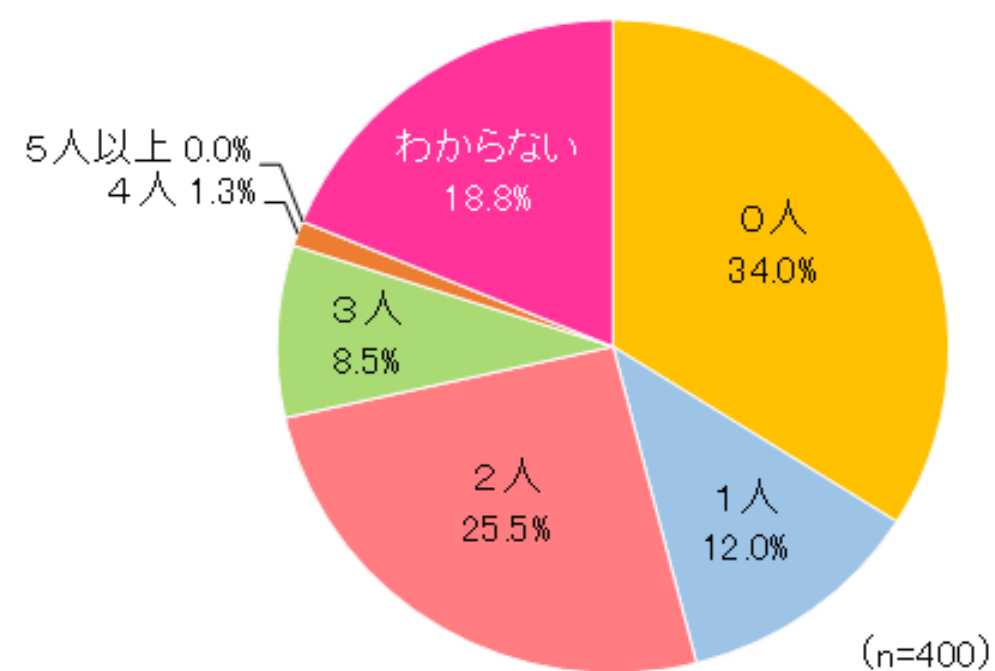
【理想のお子さんの数】

(回答対象=すべての人)



【実際に予定しているお子さんの数】

(回答対象=すべての人)



【理想のお子さんの数と実際に予定しているお子さんの数の平均】

	理想のお子さんの数(平均)				実際に予定しているお子さんの数(平均)			
	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳
R5年度調査	1.9	2.0	1.9	1.9	1.2	1.0	1.2	1.2
H30年度調査	2.5	2.3	2.5	2.5	1.8	1.5	2.0	1.8
H25年度調査	2.6	2.5	2.6	2.6	2.0	1.8	2.1	1.9
H20年度調査	2.7	2.5	2.7	2.8	2.0	1.6	2.0	2.1
H15年度調査	2.7	2.4	2.6	2.8	2.2	2.0	2.0	2.3

(2) 実際に予定している子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由

Q. あなたが実際に予定しているお子さんの数が理想のお子さんの数よりも少ないのはなぜですか。

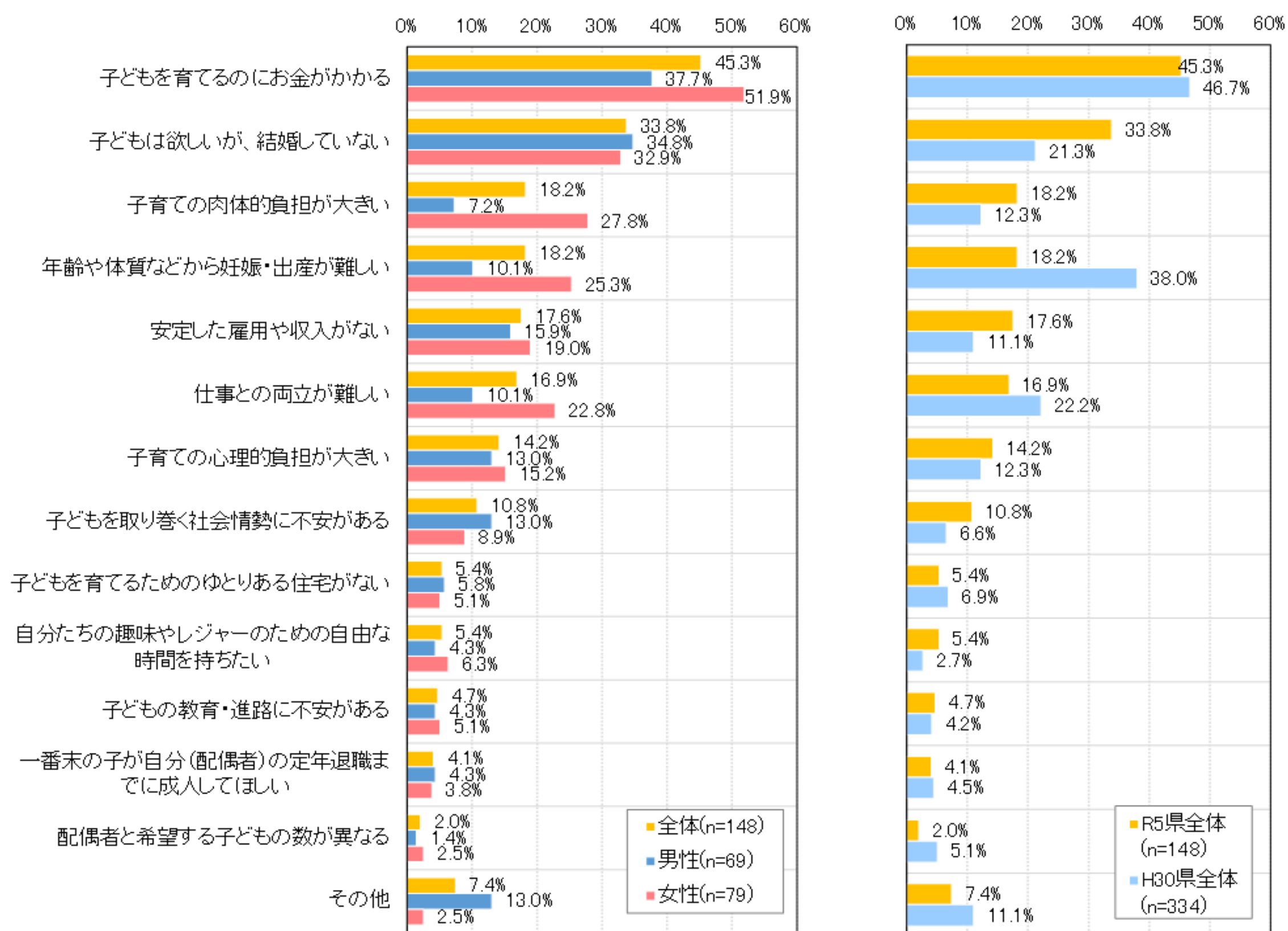
・全体では、「子どもを育てるのにお金がかかる」が45.3%と最も高く、次いで「子どもは欲しい結婚していない」が33.8%と続いている。

・男女別にみると、女性では「子育ての肉体的負担が大きい」が27.8%、「仕事との両立が難しい」が22.8%となっているが、男性では割合が低く、ともに1割未満となっている。

・また、前回調査と比較すると、「安定した雇用や収入がない」が17.6%で6.5ポイント、「子育ての肉体的不安が大きい」が18.2%で5.9ポイント増加しており、「年齢や体質などから妊娠・出産が難しい」が18.2%で19.8ポイント、「仕事との両立が難しい」が16.9%で5.3ポイント減少している。

【実際に予定している子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由】

(回答対象=実際に予定している子どもの数が理想の子どもの数より少ない人)



### (3) 子どもが3歳くらいまでの適当な昼間の子育ての場所

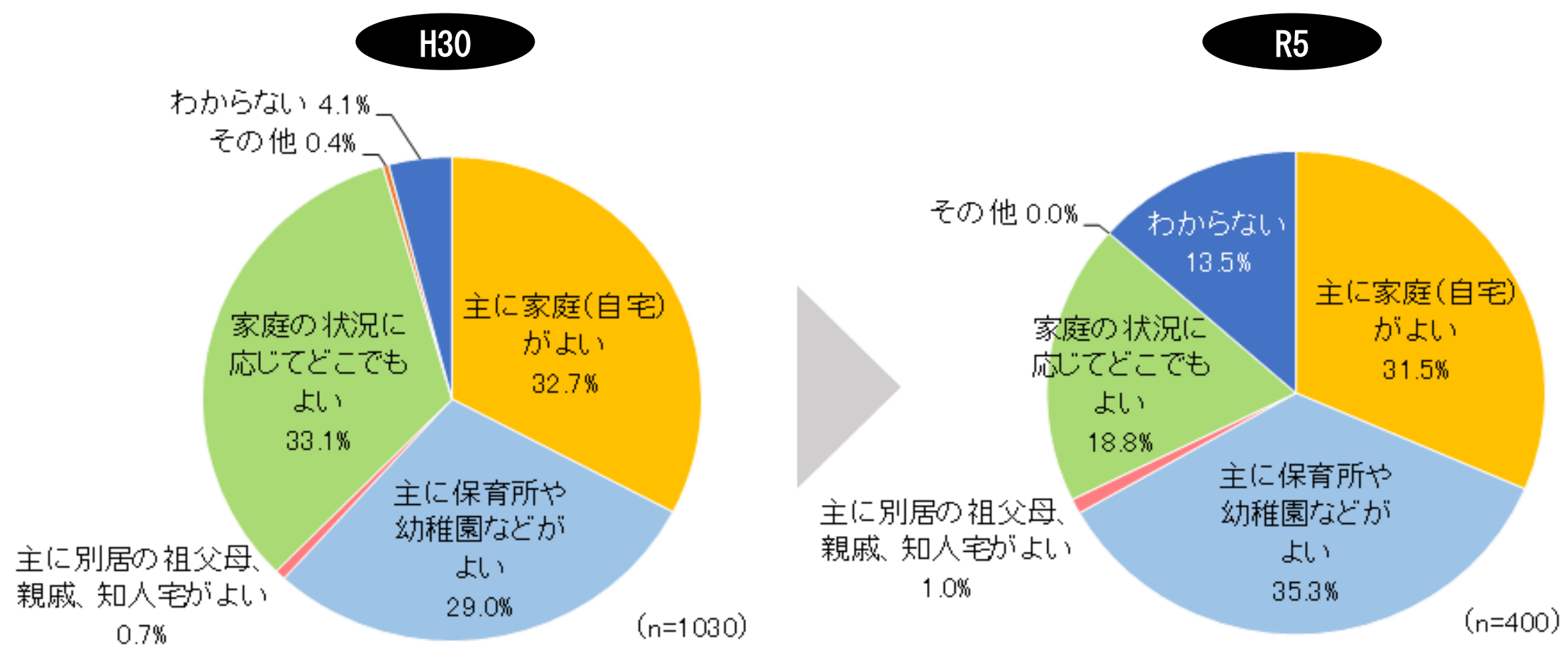
Q. あなたは、子どもが3歳くらいまでの昼間の子育ての場所は、どこが適当だと思いますか。

・「主に保育所や幼稚園などがよい」が35.3%と最も多く、「主に家庭（自宅）がよい」が31.5%、「家庭の状況に応じてどこでもよい」が18.8%と続いている。

・前回調査と比較すると、「家庭の状況に応じてどこでもよい」が18.8%と14.3ポイント減少、「主に保育所や幼稚園などがよい」が35.3%と6.3ポイント増加しており、保育所や幼稚園等を望む傾向にあることがうかがえる。

### 【実際に予定している子どもの数が理想的な子どもの数より少ない理由】

(回答対象=実際に予定している子どもの数が理想的な子どもの数よりも少ない人)



#### (4) 行政に期待する施策

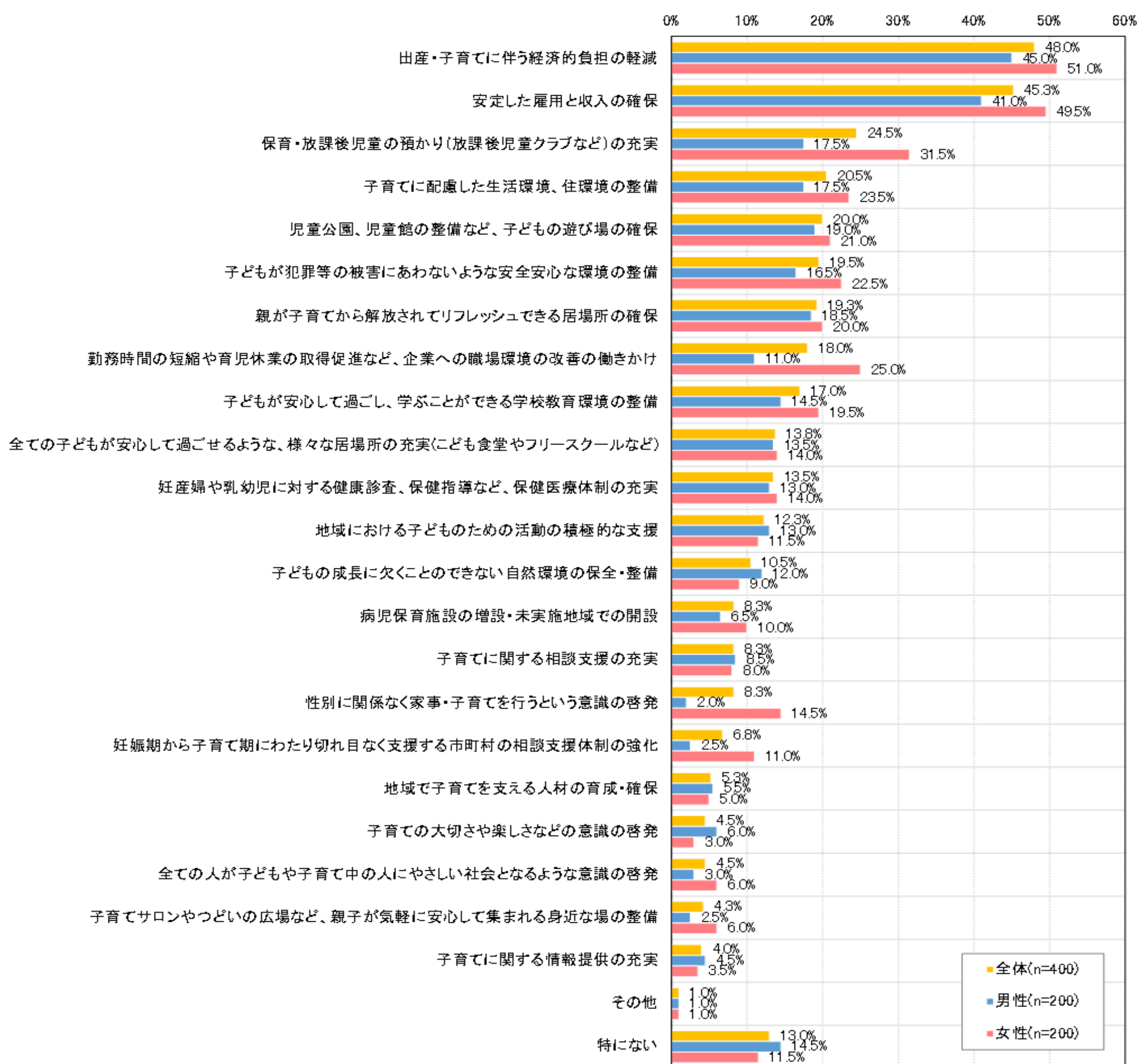
Q. あなたは、子どもを安心して生み、健やかに育てることができる環境を整備するため、行政に、どのような施策を期待しますか。

・全体では、「出産・子育てに伴う経済的負担の軽減」が48.0%と最も高く、次いで、「安定した雇用と収入の確保」が45.3%と高い割合になっている。

・男女別にみると、「保育・放課後児童の預かり（放課後児童クラブなど）の充実」「勤務時間の短縮や育児休業の取得促進など、企業への職場環境の改善の働きかけ」「性別に関係なく家事・子育てを行うという意識の啓発」は、女性は男性よりも選択割合が10ポイント以上高くなっており、女性は子どもを預けられる環境の整備や男女共同参画意識の浸透をより期待している傾向にあることがうかがえる。

#### 【子どもを安心して生み、健やかに育てることができる環境を整備するため、行政に期待すること】

(回答対象=すべての人(複数回答:5つまで))



(5) 特にどのような経済的支援を充実すべきか

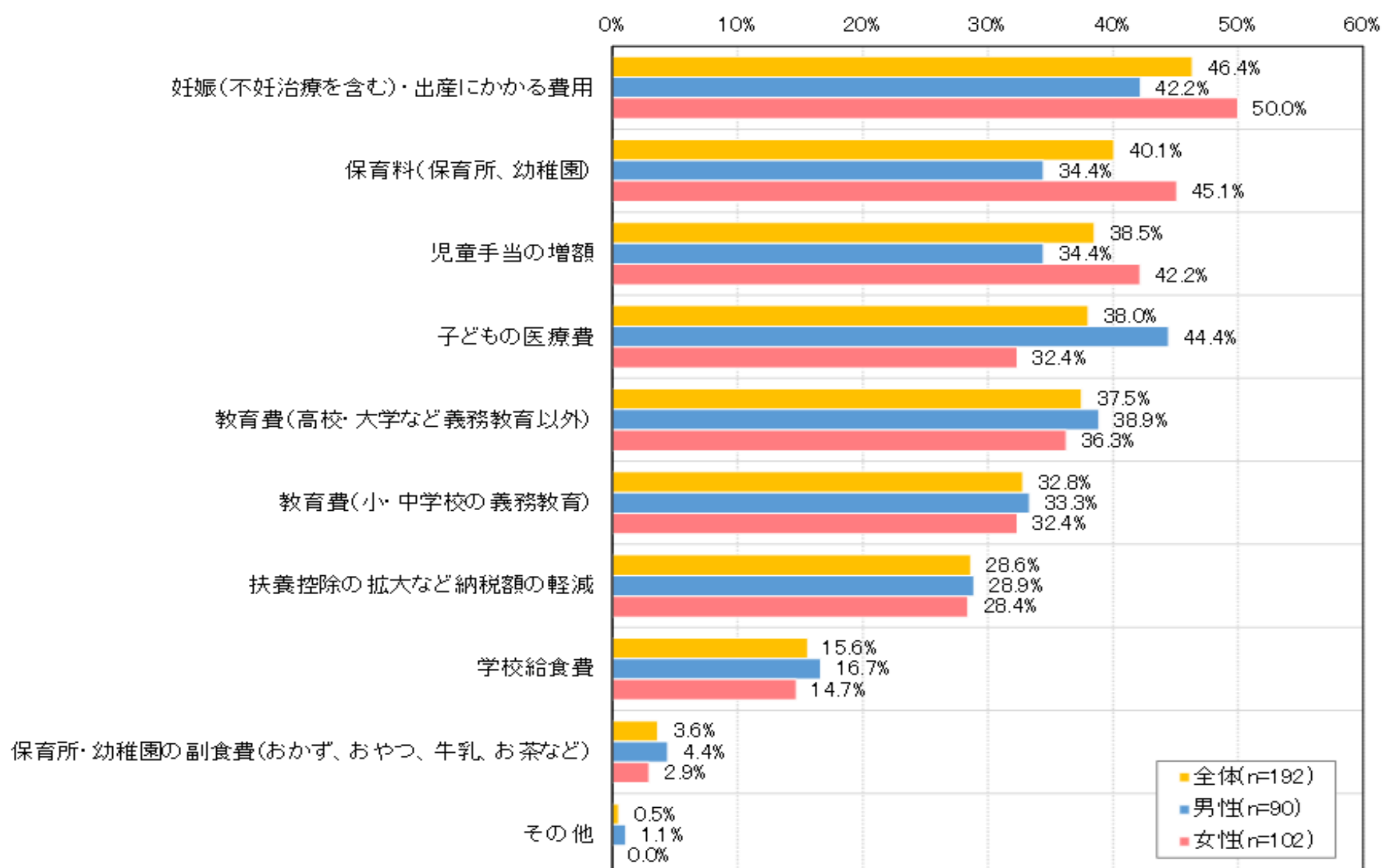
Q. 特にどの経済的支援を充実すべきだと思いますか。

・全体では、「妊娠（不妊治療を含む）・出産にかかる費用」が46.4%と最も高く、「保育料（保育所・幼稚園）」が40.1%、「児童手当の増額」が38.5%、「子どもの医療費」が38.0%、「教育費（高校・大学など義務教育以外）」が37.5%と続いている。

・年代別にみると、20代未満の「妊娠（不妊治療を含む）・出産にかかる費用」「教育費（高校・大学などの義務教育以外）」は他の年代よりも10ポイント以上高く、30代では「保育料（保育所・幼稚園）」、40代では「子どもの医療費」が他の年代よりも高くなっている。

【特にどのような経済的支援をすべきか】

(回答対象=前問で出産・子育てに伴う経済的負担の軽減を選択した人(複数回答:3つまで))



(6) 子育てをする上での負担や不安の有無とその内容

Q. あなたは、子育てをする上で負担や不安を感じますか。

あなたは、子育てをする上でどのような負担や不安を感じますか。

※子育てをする上で負担や不安を「非常に感じる」「どちらかといえば感じる」と選択した人のみ

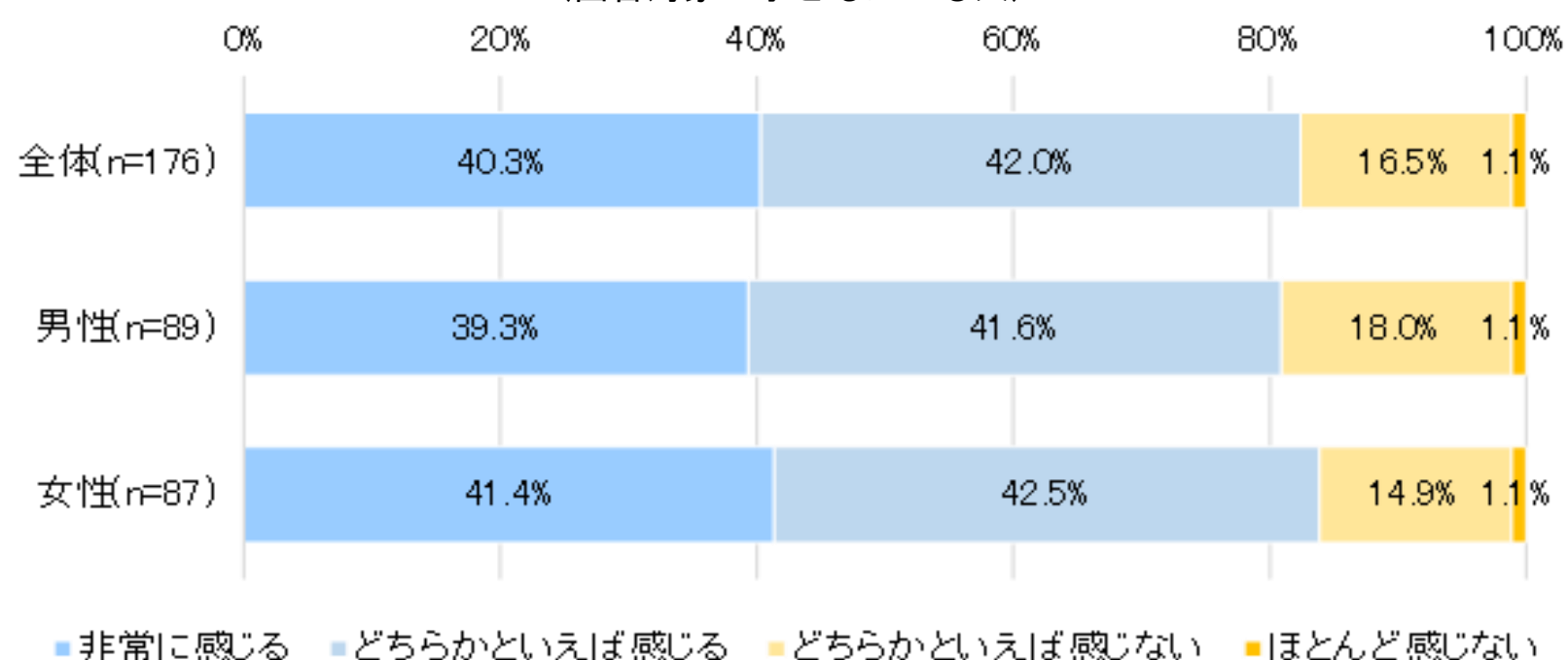
・「非常に感じる」が40.3%、「どちらかといえば感じる」が42.0%で、合わせると約8割の人が負担や不安を感じている。

・子育てをする上での負担や不安の内容は、「子育てにお金がかかる」が66.9%と最も高く、「仕事と子育ての両立が難しい」が29.0%、「子育てによる体の疲れが大きい」が25.5%、「自分の自由な時間が持てない」が25.5%、「親としての責任を果たすことができるか不安」が24.1%と続いている。

・男女別にみると、「仕事と子育ての両立が難しい」「自分の自由な時間が持てない」「親としての責任を果たすことができるか不安」は、女性の選択割合が高くなっている。

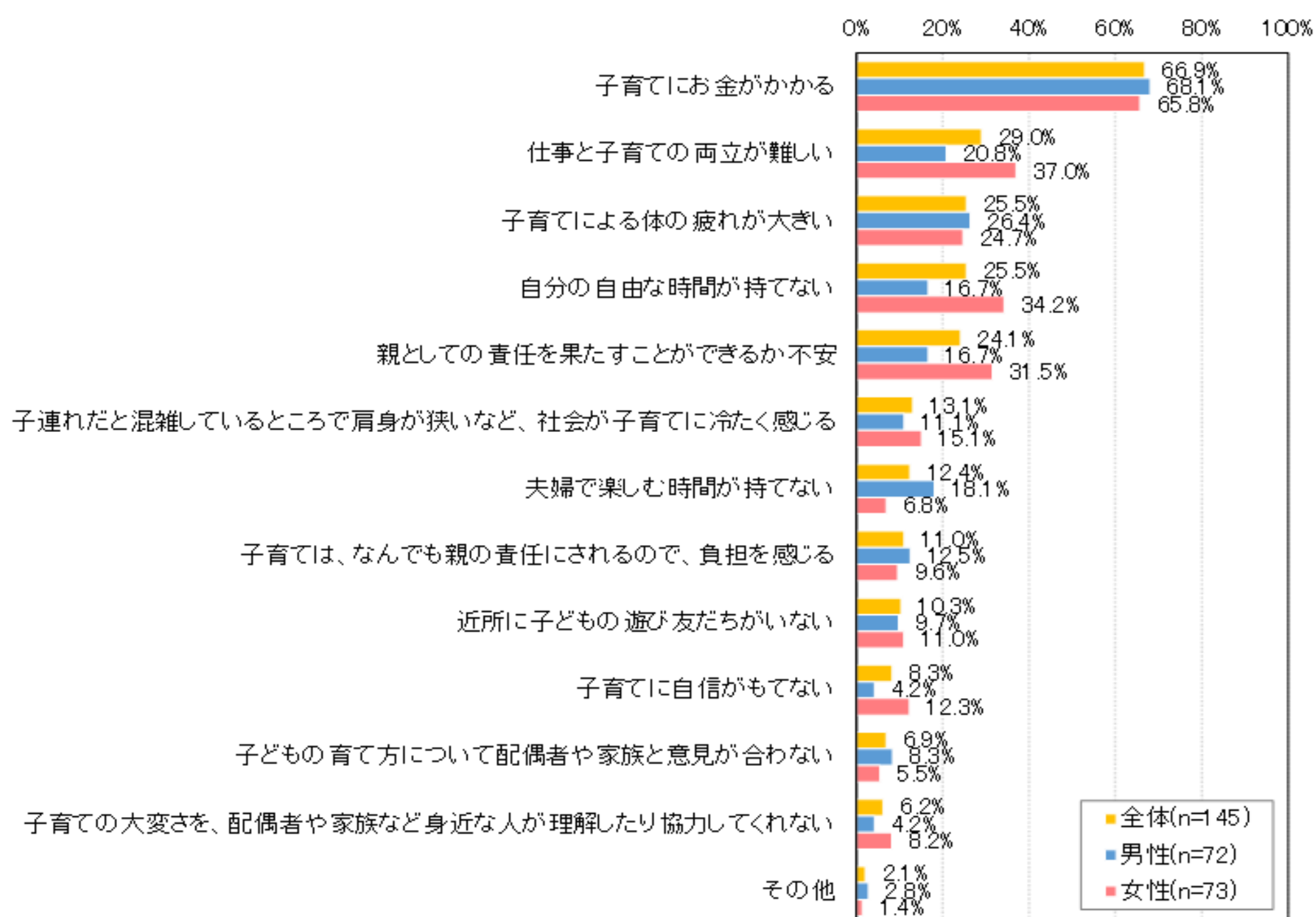
【子育てをする上での負担や不安の有無】

(回答対象=子どもがいる人)



【子育てをする上での負担や不安の内容】

(回答対象=前問で負担や不安を感じるを回答した人)



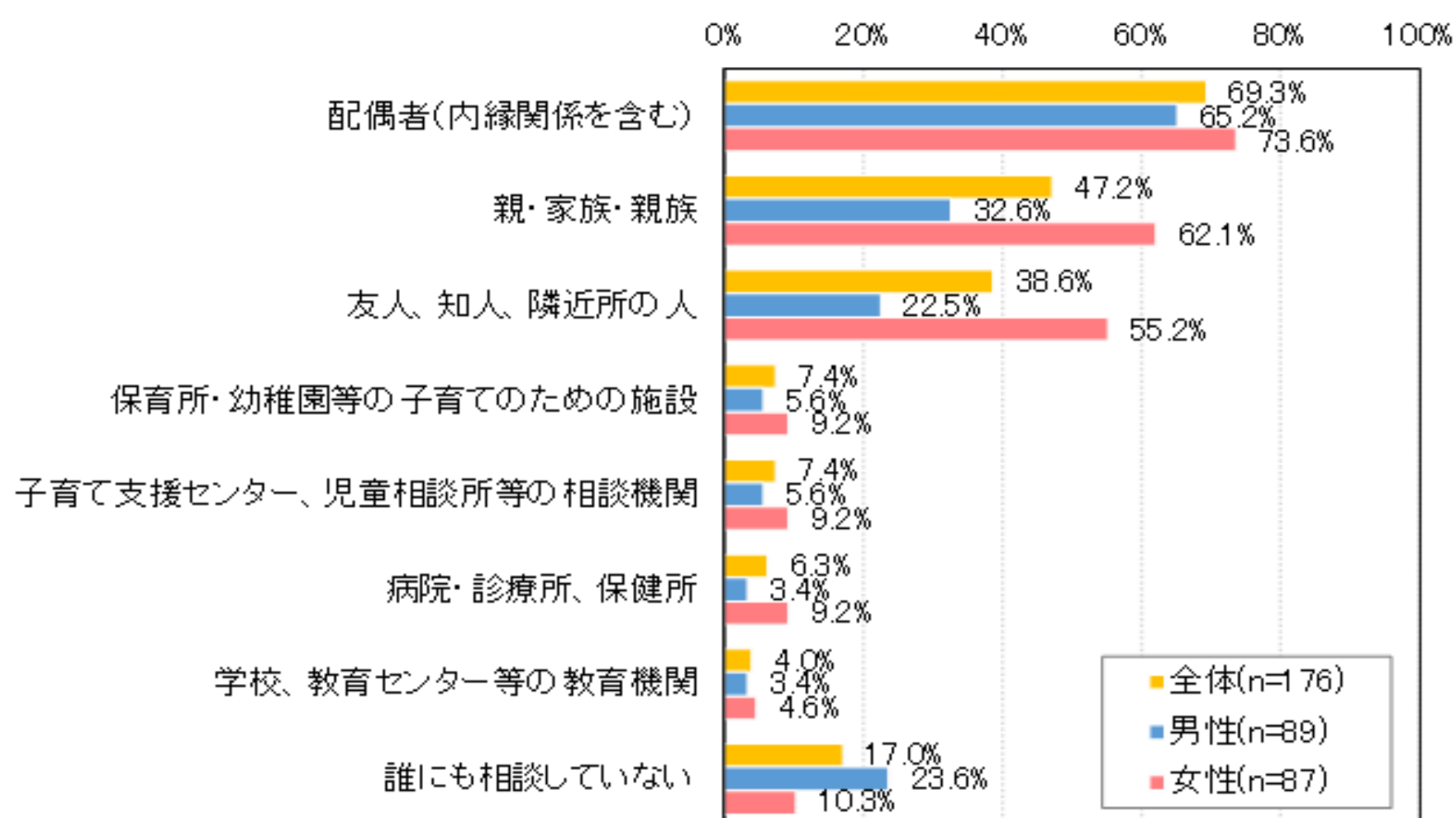
## (7) 子育てに関する悩みや不安を相談する相手

Q. あなたは、子育てに関する悩みや不安をだれに相談していますか。

- ・全体では、「配偶者（内縁関係を含む）」が69.3%と最も高く、次いで「親・家族・親族」が47.2%、「友人、知人、隣近所の人」が38.6%となっている。
- ・一方で、「誰にも相談していない」が17.0%となっており、約2割の人は誰にも相談していないと回答している。
- ・男女別にみると、上位にある「配偶者（内縁関係を含む）」、「親・家族・親族」、「友人、知人、隣近所の人」は全て男性よりも女性の選択割合が高くなっているが、「誰にも相談していない」は男性の選択割合が女性よりも13.3ポイント高くなっている。

### 【子育てに関する悩みや不安を相談する相手】

(回答対象=子どもがいる方)





**(8) 男性・女性の就業のあり方、家事・子育ての関わり方として望ましいもの**

Q. 男性と女性の就業のあり方として、あなたが最も望ましいと思うのはどれですか。

男性と女性の家事・子育ての関わり方として、あなたが最も望ましいと思うのはどれですか。

・望ましい就業のあり方として、男女とも「結婚や子どもの出生と関係なく仕事を続ける」が最も高くなったが、男性では86%である一方、女性では62%となっている。

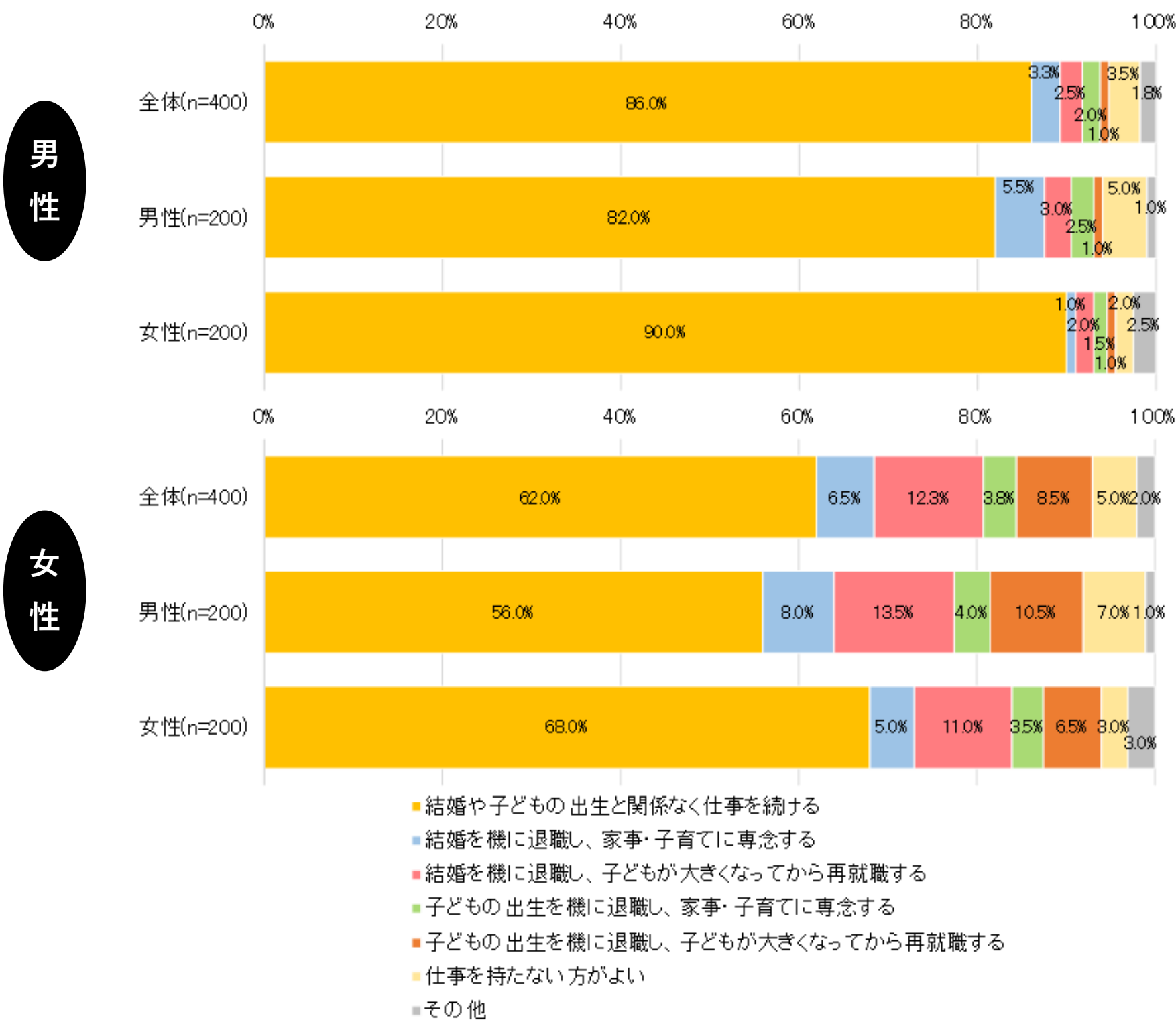
・女性の就業のあり方では、「結婚や子どもの出生と関係なく仕事を続ける」に次いで、「結婚を機に退職し、子どもが大きくなってから再就職する」が12.3%、「子どもの出生を機に退職し、子どもが大きくなってから再就職する」が8.5%で、それぞれ男性の就業のあり方より9.8ポイント、7.5ポイント高くなっている。

・また、男性・女性の家事・子育ての関わり方については、それぞれ「家事・子育てと仕事のバランスについて家庭内で話し合い、制度（育児休業や短時間勤務など）を利用して働き方を見直し、家事・子育てを行う」が男性38.5%、女性49.5%と最も高く、次いで男性の家事・子育ての関わり方では、「働き方はそのまま休日などできる範囲で家事・子育てを行う」が29.5%、女性の家事・子育ての関わり方では「家事・子育てと仕事のバランスについて家庭内で話し合い、制度（育児休業や短時間勤務など）を利用して働き方を見直し、家事・子育てを行う」が26.3%となっている。

・回答者の性別ごとにみると、男性が「仕事に専念し、家事・子育ては配偶者に任せる」または「働き方はそのまま休日などできる範囲で家事・子育てを行う」を男性の家事・子育ての関わり方として選択した割合は43.5%である一方、女性の家事・子育ての関わり方として選択した割合は24%となっている。また、女性が「仕事に専念し、家事・子育ては配偶者に任せる」または「働き方はそのまま休日などできる範囲で家事・子育てを行う」を女性の家事・子育ての関わり方として選択した割合は7%である一方、男性の家事・子育ての関わり方として選択した割合は27.5%となっており、「男性は仕事、女性は子育て」といった性別による役割分担の意識が男女ともあることがうかがえる。

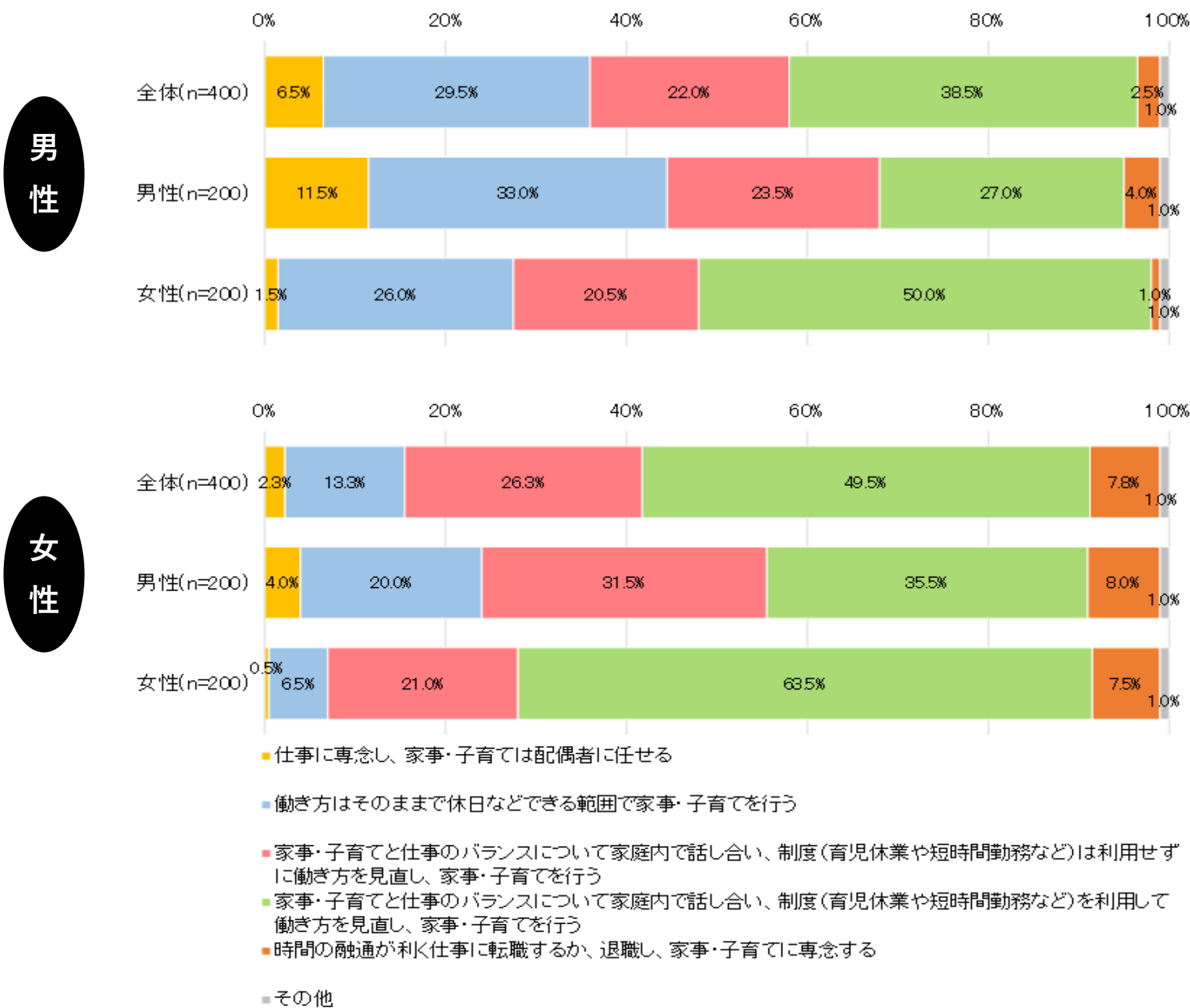
## 【男女の就業のあり方として最も望ましいと思うもの】

(回答対象=すべての人)



## 【男女の家事・子育ての関わり方として最も望ましいと思うもの】

(回答対象=すべての人)



### (9) 仕事と子育ての両立のために行政に期待する施策

Q. あなたは、仕事と子育ての両立のため行政に対しどのような施策を期待しますか。

・全体では、「安定した雇用の確保」が49.3%と最も高く、次いで「企業への働きかけ（長時間労働の是正、制度の充実等）」が32.3%、「保育・放課後児童の預かり（放課後児童クラブなど）の充実」が31.8%、「強制力のある制度改革」が27.8%と続いており、雇用確保や職場環境の改善と保育等の充実に期待している傾向にあることがうかがえる。

・男女別にみると、「企業への働きかけ（長時間労働の是正、制度の充実等）」、「保育・放課後児童の預かり（放課後児童クラブなど）の充実」は男性よりも女性の選択割合が高く、「強制力のある制度改革」は女性よりも男性の選択割合が高くなっている。

### 【仕事と子育ての両立のために行政に対し期待する施策】

(回答対象=すべての人(複数回答:2つまで))

